

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：学校建設費

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

事業名 校地整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育財務課施設第一係 電話番号：058-272-1111(内8569)

E-mail：c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 484,886 千円 (前年度予算額： 258,454 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	258,454	0	0	0	0	0	0	182,000	76,454
要求額	484,886	0	0	0	0	0	0	362,700	122,186
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県立学校のグラウンドは、体育活動や学校行事、クラブ活動に使用するもので、健全な児童生徒の育成に不可欠な施設である。

近年のグラウンドは、経年による水はけ不良や表土流出、防球ネット等工作物の老朽化が著しくみられ、改良等の工事が必要な学校が増えている。

また、学校のグラウンド照明は水銀灯照明が多く使われており、水銀灯の製造禁止に対応するためLED照明に改修する必要がある。

(2) 事業内容

グラウンド等改修工事

実施設計： 高等学校 3校

改修工事： 高等学校 9校 特別支援学校 2校

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10 (県立学校の校地整備のため)

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	41,000	実施設計(22,000)、工事監理(19,000)
工事請負費	443,000	改修工事
事務費	866	
合計	484,866	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり

目標25 学校施設の整備の充実

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県立学校のグラウンド整備や改修を行うことで、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる学習環境を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①グラウンド等 改修工事の 実施設計	-	10	4	3	-	
②グラウンド等 改修工事	-	5	10	11	-	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜農林高等学校の防球ネット及び支柱が更新された。 ・各務原高等学校のグラウンドの不陸整備や地盤改良を行った。 ・大垣商業高等学校のグラウンド照明をLED照明に改修した。 ・武義高等学校のグラウンド整備（1期）工事を行い防球ネット及び支柱が更新された。 ・岐阜本巣支援学校の駐車場整備工事を行い、駐車場表層が改修された。 ・中濃特別支援学校のグラウンドの部分改良を設計した。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・長良高等学校の防球ネット改修を設計した。 ・岐阜総合学園高等学校の防球ネットを改修した。 ・岐阜総合学園高等学校の防球ネット改修を設計した。 ・岐阜各務野高等学校の防球ネットを改修した。 ・岐阜各務野高等学校のホッケー場改修を設計した。 ・大垣東高等学校のテニスコートを改修した。 ・大垣西高等学校の散水設備を整備した。 ・大垣商業高等学校のグラウンド照明を改修した。 ・武義高等学校のグラウンドを改修した。 ・関高等学校のテニスコート改修を設計した。 ・多治見高等学校の防球ネットを改修した。 ・多治見高等学校のグラウンド改修を設計した。 ・大垣特別支援学校の駐車場を整備した。 ・中濃特別支援学校の擁壁沈下対策工事を設計した。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・長良高等学校の防球ネットを改修した。 ・岐山高等学校の舗装を改修した。 ・岐阜商業高等学校のグラウンド照明改修を設計した。 ・岐阜各務野高等学校のホッケー場を改修した。 ・岐阜工業高等学校のグラウンド照明改修を設計した。 ・華陽フロンティア高等学校のグラウンド照明改修を設計した。 ・関高等学校のテニスコートを改修した。 ・加茂高等学校のグラウンド照明改修を設計した。 ・多治見高等学校のグラウンドを改修した。 ・東濃フロンティア高等学校のグラウンド照明改修を設計した。 ・中津高等学校のグラウンド照明改修を設計した。 ・中津高等学校の法面改修を設計した。 ・飛騨高山高等学校のグラウンド照明改修を設計した。 ・岐阜聾学校の擁壁改修を設計した。 ・岐阜本巣特別支援学校の擁壁改修を設計した。
	指標① 目標： 5 実績： 5 達成率： 100%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>経年劣化及び気象の影響によりグラウンド施設の老朽化や校地の荒廃が進み、年々、整備を必要とする箇所が増加している。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>老朽化した防球ネット施設等の改修や荒廃したグラウンド地盤の整備により、危険な箇所が解消され児童生徒の安全が確保されている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>グラウンド等の改修は、施設の劣化やグラウンド用地の荒廃状況から優先順位等を検討し、整備を計画している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 防球ネット等の施設やグラウンド用地は、使用が開始されて以降、大規模な改修が行われた学校は少なく、荒廃が原因により整備を必要とする学校が増加している。また、水銀灯の製造中止に伴い、照明の改修が必要になっている。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 改修の緊急性や必要性等を総合的に判断し、整備個所の優先順位を付けたうえで、効率的な整備を図る。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	—
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	—